

CBTを活用した入学者選抜に関する事例報告

～CBT入試の立ち上げと大学試験場モデルの 試験運営について～

2025/3

電気通信大学 入試課

©2025 The University of Electro-Communications

○文科省委託事業採択 (2022/9)

事業計画「2024年度に総合型選抜及び学校推薦型選抜でCBTを用いた入試を実施」

- ・情報理工学域 I 類(情報系)で導入
- ・基礎学力検査と「非認知能力」調査をCBTで実施
- ・大学試験会場モデルとして情報基盤センター演習室(計算機室)で実施
- ・従来の選抜内容に追加して実施。総合型選抜では第一次選考において実施

○2年前予告のための広報 CBT導入とPBTとの相違点に関する周知

☆記者懇談会 (2023/1/17)
I 類(情報系)の総合型選抜および学校推薦型選抜においてCBTの活用を発表
個別学力検査(一般:前期)での「情報」実施とあわせて発表

☆ウェブサイト
第1報 (記者懇談会に準じる) (2023/1/17)

第2報 選抜内容、試験時間、評価方法 (2023/7/3)

第3報 総合型試験時間の変更、CBTの成績によっては書類審査を実施しない (2024/6/17)

サンプル問題、操作動画の公開
CBT体験会で用いた試作問題と操作画面の動画を公開

(2023/12)

「CBT実施上の注意」
問題非公開（漏洩禁止）、出願者へのオンライン操作体験機会提供、端末トラブル対応 等

(2024/7/25)

★ CBT実施上の注意 ★

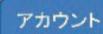


国立大学法人
電気通信大学
The University of Electro-Communications

- ◆ **試験問題の非公開(漏洩禁止)**
 - ・試験問題の非公開・漏洩禁止に関する事項に同意しないと、出願、受験ができない
- ◆ **CBTシステムの操作体験機会の設定**
 - ・志願者に対して、出願受理後から基礎学力検査までの一定期間の間に、オンラインによるCBTシステムの操作体験の機会を設ける予定 → 自宅から試行ができる
- ◆ 入試時は電通大の端末室で、各自がログインして受験
- ◆ **解答中に設問間を移動することが可能(問題数は固定)**
- ◆ 計算用の白紙もある(試験後は回収)
- ◆ マシンフリーズなどの際は別の端末に移動(移動時間等で少なくなった試験時間を考慮して得点が補正される等、受験者に不利益が生じないよう配慮を行う)
2024/8/22 変更
- ◆ 万一、大きなトラブルが発生した場合は、翌日の受験を想定(翌日は違う問題)

眼き見防止
パネル

注意事項
計算用紙



アカウント




© 2024 UEC Tokyo.

No.2

©2025 The University of Electro-Communications

☆イベント

高校生向け

2023年第2回オープンキャンパス 「CBT説明会」
CBTの理論、世界標準準拠、操作方法の紹介 等

(2023/11/26)

同上 「CBT体験会」
本番環境で2回開催 参加者約50名(高2生) メディア取材受入
※成績サンプルとアンケート収集、試験室進行シミュレーション

2024年第1回オープンキャンパス 「CBT体験会」
本番環境で2回開催 参加者約100名

(2024/7/14)

他機関見学受入

2024年第2回オープンキャンパス 「情報およびCBTに関する説明会」
9月に実施した総合型選抜での実施状況を報告

(2024/11/24)

体験会参加者のアンケート回答から

- ・CBTへの抵抗感はあまり示されていない
- ・システムや操作において不具合は特になかった
- ・CBT入試を受けたい、受けてもよいが8割強

No.3

©2025 The University of Electro-Communications

高校教員等向け

「2025年度入学者選抜における「情報」入試／CBTに関する高校教員等説明会」
CBTを活用した入試の説明と質疑応答 (2023/9/30)

「2025年度入学者選抜における「情報」入試／CBTに関する令和6年度説明会」
オープンキャンパス体験会における高校生受験者成績報告、CBTシステム操作体験
(2024/5/11)

一般向け(高校生含む)

シンポジウム『教科「情報」を含むアイテムバンク式CBTによる大学入試の試み』
委託事業による電通大CBTの説明と入試実施報告、連携機関での取組状況等
(2024/12/7)



高校教員CBT体験



シンポジウム

No.4

©2025 The University of Electro-Communications

○試験実施に関する検討

- ・総合型CBTの実施日程
これまで第一次審査は書類審査のみであったため、出願期間、出願処理・データ作成、出願者連絡、操作体験、書類審査、類会議、入試委員会の日程を考慮して2025入試は9/13実施に決定
- ・問題の非公開(漏洩)に関する説明と同意の取り方
アイテムバンク式のため。説明内容と同意の取得方法
- ・システム障害発生時の対応と予備日設定
座席移動時の手順、予備日に関する記載と受験者対応等
- ・操作体験の実施と連絡方法
体験会不参加者への配慮。オンラインでのセキュリティ面から出願者にのみ実施
(総合型) PR動画提出時のメールアドレスに連絡
(学校推薦型) 志願票記載のメールアドレスに連絡
- ・出願多数の場合の対応
使用できる試験室(計算機演習室)は2室と予備室1室
- ・受験上の配慮措置への対応
例示はせず、早めに連絡を求めるとし、合理的な範囲で対応

No.5

©2025 The University of Electro-Communications

- ・実施(監督)要領作成
UEC検定のマニュアルを参考として入試仕様にする。
- ・試験時間中の問題に関する質問
PBTのような対応は困難であるため回答は行わないが、疑義は記録のうえ検証し、必要に応じて採点処理時に反映。
- ・不正防止
のぞき見防止フィルタ設置、座席配置、監視カメラ設置(誤検出防止のため時計は使わせない)。
- ・監視カメラ設置による個人情報保護
当日にシステム上で同意取得、録画データは約2週間で消去。
- ・CBT成績(基礎学力検査、非認知能力調査)の取扱い
評価(点数/評語)、書類審査、面接およびPBT(推薦のみ)との関係、得点データ受け渡し
等々

○関係者打合せ

- 実施要領の確認と疑問点・未定事項の検討 (2024/8下旬、/9月上旬)
実施要領、配布物、監視カメラ、アカウント発行、受験者対応、試験室割当、
試験室内業務分担と業務内容・手順、遅刻者対応、トラブル対応(座席移動)、
監督者の指示や配布物で使用する用語の整理、学内への協力依頼
等々

No.6

©2025 The University of Electro-Communications

○学内に対して

- 「基礎学力調査と入試でのCBTシステムの活用に係るFD・SD」 (2024/6/21)
・CBTによる基礎学力調査と入学後の単位取得や入試時の成績との関係の分析
・CBT入試の概要

役員への進捗報告会

「情報」ともども節目ごとに状況報告。

試験実施に伴う協力依頼

- ・試験室となる演習室の利用制限
9月の総合型では夏期休業期間中のため問題なし。
11月学校推薦において、演習室を利用する授業担当教員に対応を依頼。
- ・試験室のある建物の利用者への連絡
試験室のある1階からの出入と1~3階の利用制限(トイレ含む)、大型物品搬入は別日で。
- ・図書館
試験室とPC環境が同じ図書館自習室を予備試験室としたため、図書館判断により休館。
- ・全学あて
オンライン運用のため、負荷のかかる通信と機器構成変更の回避を依頼。

No.7

©2025 The University of Electro-Communications

○学生募集要項等への掲載

2025入試選抜要項

「入学者選抜の基本方針」改定、CBTシステム活用の趣旨説明、ウェブサイト上のサンプル問題等への誘導。

2025入試学生募集要項（総合型、学校推薦型）

選抜要項での改定事項に加えて、

- ・問題非公開（漏洩禁止）に関する記載…スライドNo.9参照
第三者への開示およびSNS・掲示板投稿の禁止、損害賠償措置、漏洩禁止への同意を志願票と受験時にシステム上で求める。
- ・出願者に対するオンラインでのシステム操作体験の実施。
- ・総合型において、CBT基礎学力検査の結果により書類審査を行わないことがある。
- ・配慮措置を希望する場合、所定の手続期日によらず早めの相談を求める。
- ・CBTを行わない類（学科）の明記。

問題非公開に関する学生募集要項への記載

試験問題等の非公開（漏洩禁止）について

基礎学力検査の試験問題および非認知能力調査の質問内容（以下「試験問題等」とする）は非公開です。受験者は出願時および第一次選考の受験時に以下の事項に同意していただく必要があります。同意されない場合には出願を受理せず、受験できません。

- 試験問題等の全部又は一部（試験問題中に登場する文字に限らず、出題質問内容を示唆する表現も含む）を第三者に開示（漏洩）しないこと。
- 上記a.を開示（漏洩）した場合、関係法令等に基づき損害賠償請求等の措置が取られること、また不正行為として試験結果を無効にすることがあります。

なお、試験問題等は著作権法で保護されています。出題質問に関する SNS への投稿、インターネット掲示板への書込みなどについても、上記の開示（漏洩）とみなす場合がありますので、くれぐれもご注意ください。

○実施準備

☆試験室での監督者説明会と現地確認（総合型、学校推薦型それぞれで実施）

- ・監督者、監督予備者（監督者見習）、機器補助者（学生）、カメラ監督者への説明とリハーサルを実施。
- ・試験室の端末台数は約80台/室だが、のぞき見フィルタを設置しても角度によってはその隙間から見えてしまい、全席の利用は難しい。あわせて、受験者や監督者の動線を確保すると50名程度/室が適切。
- ・のぞき見フィルタがあるので、PCフリーズ等のトラブル発生時に受験者の背後に立たないと画面が見えない。また、机の前後間隔がさほど広くないので、試験時間中の移動に難あり。
- ・受験者毎に机の上に設置する監視カメラが一斉に不正検知した場合の無線通信負荷確認として、約50名でスマホ操作テストを実施したところ問題なし。この場合、カメラ監視者は対応が難しいが、実際には同時発生の可能性は低い。



監視カメラテスト

No.10

©2025 The University of Electro-Communications

☆出願者への連絡

システム操作体験案内のメール送信

- ・URL・体験用アカウント・実施期間（試験日前日まで）
- ・試験当日の環境
マウスとキーボード利用、ディスプレイサイズ（22インチ）とのぞき見防止フィルタ設置、計算用紙配付、監視カメラ設置と録画データ保管期間
- ・試験実施予備日について（総合型）

CBT試験は紙の試験よりもトラブルの可能性が高いため、万が一試験の実施が困難となるような不測の事態が発生した場合に備え、以下の通り試験実施予備日を設定いたします。予備日については、13日（金）の試験と同様の時間割を想定しておりますが、予備試験日での実施となる場合や変更となる場合には本試験当日に案内いたします。

なお、遠方からいらっしゃる方等、すでに宿泊先の予約や切符の購入が完了している方について、予備日を想定したこれらの変更についてはお願いするところではございません。このような不測の事態が起きた際には、皆様の個別の事情をお聞きした上で対応を決めさせていただきますので、ご安心下さい。

予備試験日 2024年9月14日（土）

学校推薦型では予備日を面接と同じ日にしたため、日程のみ記載

受験者心得の郵送（受験票同封）

- ・最初のCBT試験科目の説明開始時までに入室しないと受験できない。
- ・持ち込みの時計は使用不可、ディスプレイに表示あり。

No.11

©2025 The University of Electro-Communications

○試験実施

☆総合型選抜（第一次選考） 2024/9/13（金）

- ・出願期間9/3～5でCBT9/13
この間に志願者データ作成、操作体験のアカウント割り振りと案内の送信、受験票発送、座席の割当て実施
- ・出願者35名のため1部屋で試験実施
- ・監督者2名、監督予備者2名、機器補助者2名、カメラ監督者1名配置
- ・遅刻者、欠席者無し、配慮措置申請者、体調不良等での別室受験も無し。
- ・解答開始前にマウスの動きが悪いとの申し出があり座席移動
- ・解答中にPCフリーズ1名、座席移動（5分程度中断、特段問題なし）
- ・CBT成績上位者に対して書類選考を実施
- ・第一次選考合格者6名（募集人員7名）



当日の様子

No.12

©2025 The University of Electro-Communications

☆実施後に反省会を開催

- ・概ね順調だった
- ・受験者が解答開始前に行うPC操作の進度がまちまちだが、主任監督者からは確認できない。機器補助者が担当エリアを決めて確認し、主任監督者と連携するといった対応が必要。
- ・受験者への個別対応により説明時間が不足気味。
- ・解答中、PCフリーズで座席移動を行った際には、中断時間に応じて得点補正や再試験の説明と選択確認および同意を書面で行うが、書類を探すのに時間がかかった。監督者説明会での説明不足と主任監督者以外にも配付した方がよい。
- ・座席移動の記録用紙への記入方法が不明瞭で時間を要した。
- ・解答中の座席移動（トイレ含む）にはディスプレイの電源をオフにする手順を入れる。
- ・基礎学力検査途中の休憩時間は実質5分程度。一方で基礎学力検査と非認知能力調査の間の休憩時間は、非認知能力検査が15分間であることを考えると不要。
- ・時計は鞆にしまうように指示しているからか、休憩時間に時計を持たずトイレに行く受験者がおり対応が必要。
- ・初回ということもあり成績処理と資料作成をより慎重に実施、深夜に及ぶ。 等々

No.13

©2025 The University of Electro-Communications

☆学校推薦型選抜 2024/11/19(火)

- ・出願期間11/1~8、PBT11/19AM、CBT11/19PM、(CBT予備日11/20AM)、面接11/20PM
総合型よりも試験までの日数が多い、一方で出願も多いが、2回目なので順調に対応
- ・総合型反省会で挙げられた問題点に対処して実施
説明時間と休憩時間見直し(出願者に通知)、実施要領修正、マウス確認、室外に時計設置。
配布物一覧を新規作成し、アカウント一覧、座席表とともに監督者等全員に配付
- ・出願者76名のため2部屋で試験実施(1/2ずつ割振り)
- ・両試験室に監督者2名、予備監督者1名、機器補助者3名ずつ配置+カメラ監督者1名
- ・遅刻者、欠席者無し、配慮措置申請者、体調不良等での別室受験も無し
- ・終了間際30秒前にPCフリーズした者1名、そのまま終了(特段問題無し)
- ・最初の試験の開始20分程度経過時点でシステムの試験時間設定に誤りがあることが試験室で判明。ディスプレイに表示される時間に誤りがあることを口頭伝達のうえ、他の試験室にも連絡。実施本部で文章を用意して試験室ディスプレイに表示。次の試験時間までに設定変更して対応。
- ・合格者27名(募集人員26名)

No.14

©2025 The University of Electro-Communications

☆今後に向けての課題

- ・午前中にPBT(午後採点)、午後にCBTで業務が輻輳、トラブル発生時に不安がある。
- ・受験者への配布物やトラブル発生時に使用する印刷物の種類が多く、配布物一覧表を作成したがやはり煩雑。
- ・解答開始前のPCログインに手間取った受験者に対して、機器補助者が操作代行してしまった。
- ・シャープペンシルが光ったのを監視カメラがスマホと誤認識したことが少なからずあった。
- ・システムの試験時間設定誤りについて、実施本部での伝達文章作成に際し、受験者ディスプレイの時刻表示(経過時間?残時間?)が分らず確認に時間を要した。その結果、終了10分前のプロジェクト表示となった。
また、他試験室への伝達を実施本部を経ずに行われたこと、実施本部への報告が監督者以外により行われたこと、通常は実施本部が実施する受験者への伝達実施の確認が漏れたことについて、設定確認とともにトラブル対応手順の再確認が必要。
- ・前回ほどではないにしろ、成績処理と資料作成に時間を要した。
- ・リスク回避と業務負荷軽減のため、学校推薦型では1日目CBT、2日目PBT、3日目面接との要望もあるが、受験者の負担増による志願者減が懸念される。

No.15

©2025 The University of Electro-Communications